

教育委員会協議会議題

平成18年2月16日

1 協議事項

(1) 平成18年度学校教育のねらいと基本方針について (資料1 学校教育課)

2 報告事項

(1) おだわらっこドリームシアターについて (資料2 学校教育課)

1 学校教育のねらいと基本方針について

教育の行き届いたまち おだわら

平成18年度 学校教育のねらいと基本方針

小田原市教育委員会は、「小田原市教育都市宣言」の趣旨を踏まえ、21世紀を担う子ども達の「生きる力」を育み、地域性を生かした学校教育の創出に向けて策定した「小田原市学校教育推進計画」に基づき、小田原の資産や資源を生かして、地域とともに歩む学校づくりを進めるために、学校教育の方向を次のように決めました。

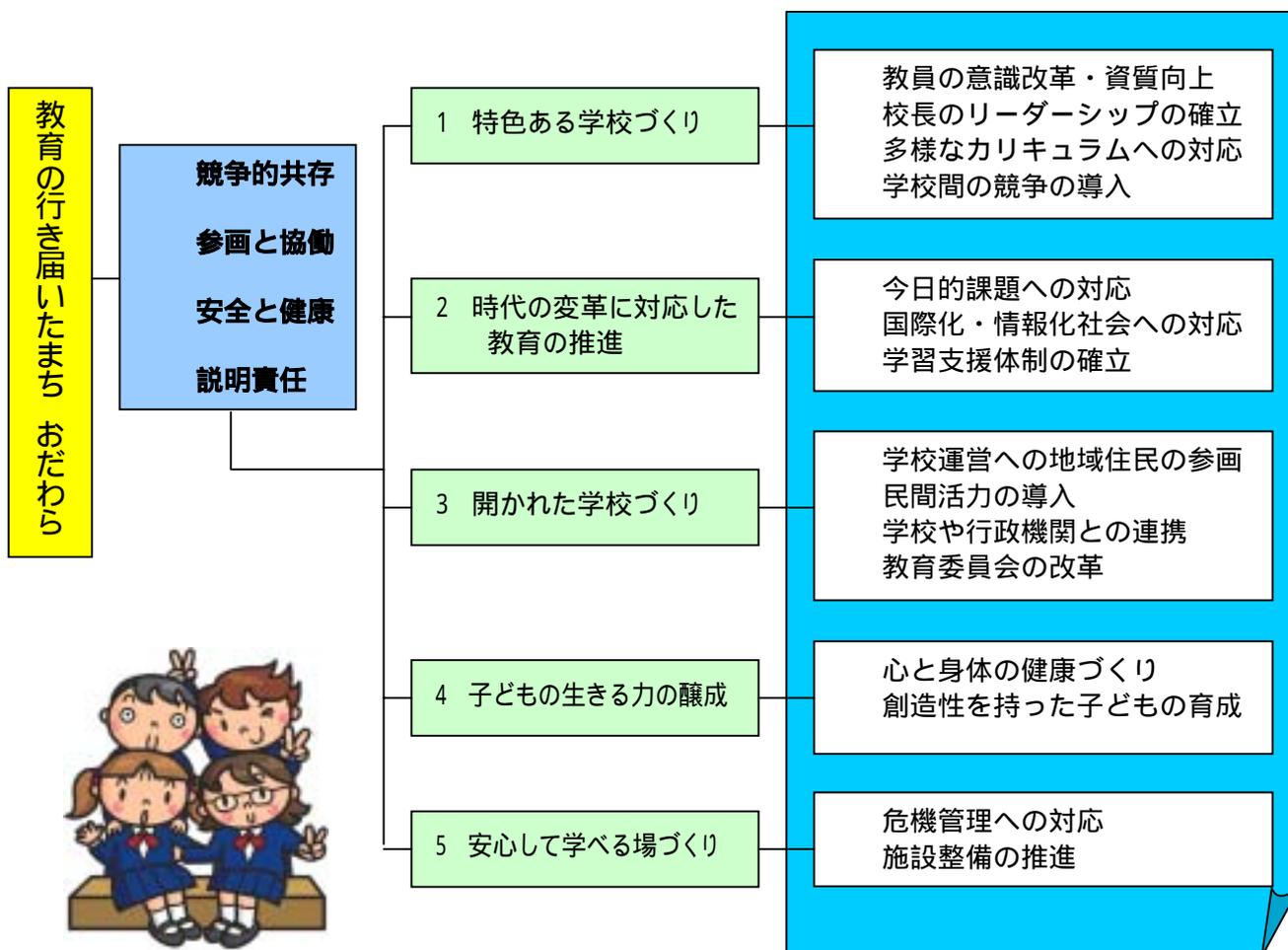
学校教育のねらい

- 1 創造性や論理的に考える力を持った子どもを育てる。
- 2 コミュニケーション能力を身に付けた子どもを育てる。
- 3 健康な心と身体を持った子どもを育てる。



基本方針

学校教育のねらいを達成するために、「競争的共存」「参画と協働」「安全と健康」「説明責任」を4つの視点として、目標と施策の方向を次のように定め、基本方針としました。



学校2学期制実施にともない、各学校が学校教育の見直しと充実に向けた取組を行うことを通して、子どもたちの学校生活の充実と確かな学力の向上をめざすとともに、学校の活性化や教職員の意識改革を図ります。

豊かな心を育む教育の充実

教育活動全体を通じて、自らを律しつつ、他者と共に協調し、他者を思いやる心、生命や人権を尊重する心、感動する心など豊かな人間性を育む教育をめざします。

子どもたちの心の安定と規範意識の向上を図る取組みとして、学校だけでなく、保護者や地域の方に、「おだわらっ子の約束」(仮称)を周知し、働きかけ、実行していきます。

児童・生徒の確かな学力の向上

子どもたちの「生きる力」を育むため、創造的な活動や社会体験、自然体験学習の充実をめざします。また、指導方法の工夫・改善や教材研究などに取組み、基礎・基本の確実な定着や学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力などを含む確かな学力の向上をめざします。

2学期制の実施にともない、教育課程の工夫・改善を行います。また、積極的に授業公開・研究を行うとともに、授業評価を行っていきます。

家庭・地域との連携の推進

保護者や地域の方の理解を得ながら、開かれた学校づくりを進め、家庭や地域社会と協力・連携して、子どもたちを育てる教育をめざします。

学校と保護者や地域の方を結ぶコーディネーターの配置を進め、教育活動全般にわたってスクールボランティアを推進します。

支援教育の充実

不登校児童・生徒や特別な支援を必要とする児童・生徒の実態に即した適切な指導が行われるよう、一人ひとりへのきめ細かな支援の充実をめざします。

身体・健康づくりの推進

生涯にわたり、子どもたちが主体的に運動に取り組むようにし、体力の向上をめざします。また、自らの健康を適切に管理し改善できるよう身体・健康づくりをめざします。

コミュニケーション能力の向上

自分の考えや思いを的確に表現できる子どもの育成を目指し、コミュニケーション能力の向上を図ります。

郷土を愛し、大切に学習の充実

郷土の自然や歴史・文化を学び、郷土を愛し大切にするとともに、小田原に誇りを持つ人間の育成をめざします。

児童・生徒の安心・安全の確保

学校における安全指導・安全管理の徹底を図るとともに、家庭・学校・地域との連携をもとにした、児童・生徒の安全・安心の確保の一層の推進を図ります。

小田原市同和教育基本方針

制定 昭和59年8月1日
一部改正 平成5年4月1日
小田原市教育委員会

同和教育は、人間尊重と平等の精神に立って、差別のない人類社会を築き上げるための人づくりを目的とする。このことは、日本国憲法に保障されている基本的人権にかかわる重要な問題である。

しかし、今日なお社会の中には歴史的発展過程において形成された身分階層構造に基づく差別と偏見が解消されたとはいえず、基本的人権が十分保障されているとはいえない。

これは、人類普遍の原理である人間の自由と平等にかかわる深刻にして重大な社会問題である。国・県及び地方公共団体はもちろん、すべての市民が自らの課題として同和対策解消に努力しなければならない。そのため、教育の果たす役割は極めて重要である。

本市教育委員会は、人権尊重の精神に徹して社会の中にある差別と偏見について正しく認識し、教育基本法に基づき、教育の主体性と責任の下に同和教育を積極的に推進するため、次の基本的事項を定める。

- 1 生涯学習の視点に立ち、学校教育と社会教育の密接な連携を図り、あらゆる機会をとらえて同和教育に関する認識と理解を図るための啓発活動を進める。
- 2 学校教育においては、人権尊重の精神に徹し、差別と偏見をなくそうとする意欲とこれを克服する実践力を培い、差別を許さない人間の育成をめざして、児童・生徒の発達段階等に即した同和教育を進める。
- 3 社会教育においては、市民一人ひとりの自覚の下に、差別と偏見を解消し、人権が真に尊重される明るい社会を築くために指導者の養成をはじめ市民の学習機会の充実を図り、同和問題についての正しい理解を深めるよう努める。

小田原市同和教育具体的施策

学校教育

- 1 同和教育を人権教育の重要な柱としてとらえ、「小田原市同和教育基本方針」をふまえ差別や偏見を許さない人間の育成を目指す。さらに、基本的人権を尊重していくための人権教育に、全教育活動を通じて積極的に取り組み、児童・生徒一人ひとりの人権が大切にされた学校教育の積極的な推進を図る。
- 2 同和教育推進のため、学校管理職員の研修会を実施する。
- 3 教諭を対象とした研修会を実施する。
- 4 各種研修会の内容をふまえた校内研修会の充実を図る。

社会教育

- 1 指導者の資質向上を図るため、社会教育関係者を対象に研修会を開催する。
- 2 同和教育の正しい理解のため、社会教育関係団体等に指導、助言する。
- 3 家庭教育学級、女性学級等における同和問題に関する学習機会の充実を図る。
- 4 同和問題の理解と認識を深めるため、市民啓発資料の作成配布や講演会を開催する。
- 5 市民への広報活動の推進に努める。
- 6 学校教育、関係諸機関、諸団体との連携を密にし、同和教育の推進を図る。

教育長の方針

現場第一主義

子どもの幸せ

良い先生

学校教育のねらい

創造性や論理的に考える力
コミュニケーション能力
健康な心と身体

<学力向上>

2学期制

- * 授業改善
- * 授業数の確保

<心の育ち>

- ・ 支援体制の確立
- ・ 安全管理の充実

<心の育ち> 教育政策課担当

おだわらっ子の約束 (仮称)

- * 規範意識
- * しつけの共通理解と共通実践

子どもの育ち

<学力向上>

- ・ 学校における
- ・ 休日における

<教職員の資質向上>

研修の充実

- * 推薦研究委託事業の推進
- * 各種研修会の充実
- * 学校訪問の充実

<学校教育制度の確立>

- ・ 教育課程の改善
- ・ 支援体制の確立

家庭教育力

地域教育力

<地域との連携>

スクールボランティアの推進

- * 全校でスクールボランティアの実践
- * 20校にコーディネーターを配置

<教職員の資質・指導力の向上>

- ・ ライフステージに即した研修
- ・ 専門的指導力を高める研修
- ・ 教育課題を踏まえ研修

<学力向上>

ワクワク学習教室

- * 休日における学習の機会を保障する場

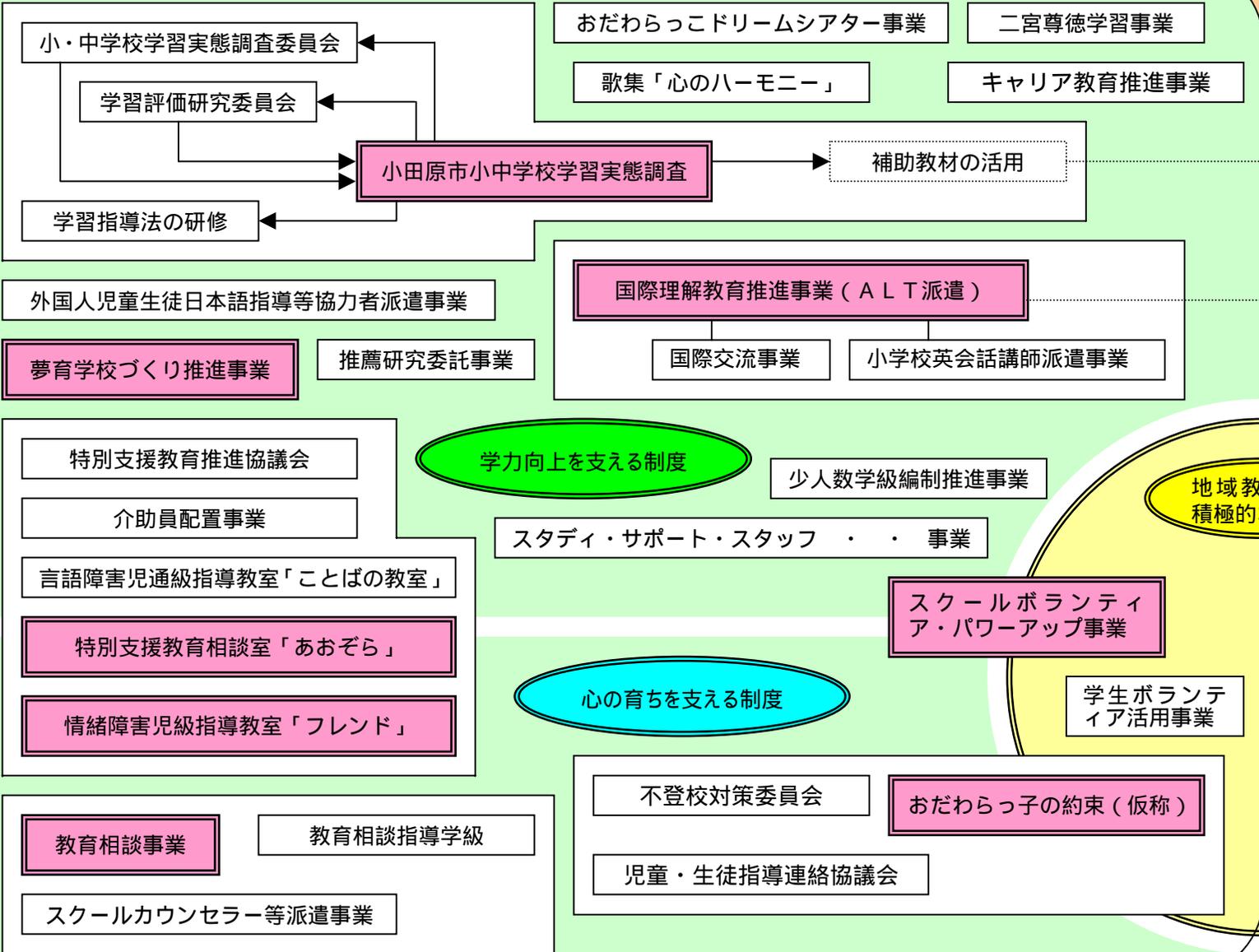
学校教育力

教育都市「小田原」

子どもを取り巻く学びの環境(生活圏内)の充実

子どもを取り巻く環境(学校)

子どもを取り巻く環境(地域・家庭)



2学期制の実施

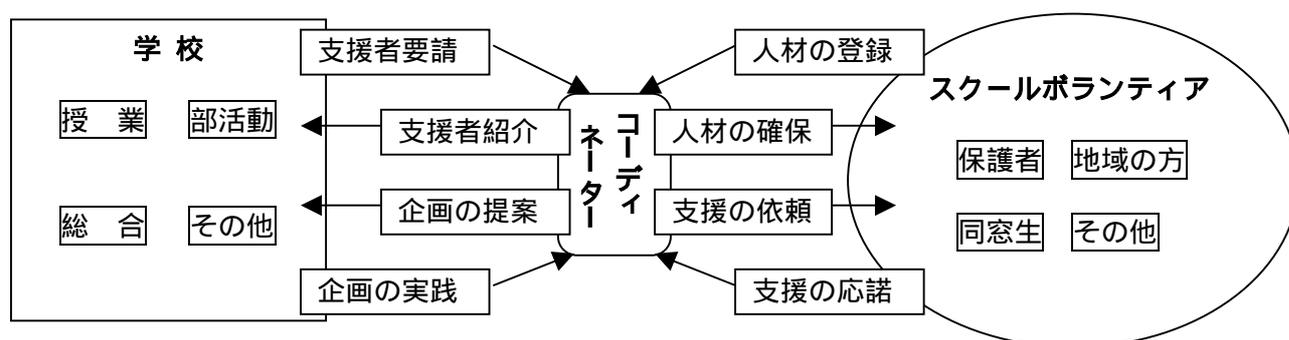
平成18年度 スクールボランティアの推進(案)

1. 趣旨

子どもたちがより良く生き、成長していくためには、今まで以上に学校を開き、学校・保護者・地域が一体となった「協働による新しい学校づくり」を進める取り組みが大切である。

地域に開き、地域の教育力を積極的に活用し、多様な教育活動を展開する学校を創り上げ、保護者・地域とともに子どもを育て、より良い地域社会づくりに貢献する学校をめざす。

その具体的な取り組みとして、今年度から3ヶ年計画で、授業や部活動等の教育活動、環境整備等とともに進めていくスクールボランティアのより一層の推進を図るものである。



2. 各学校の取り組み

1年目(平成18年度)の取り組み

- (1) スクールボランティアに関わる校内組織の立ち上げ
(担当者の分掌上への位置付けや組織作り)

〔例〕【スクールボランティア推進委員会の設置】

スクールボランティア活動の推進を図るため、推進委員会が中心となって、スクールボランティアの活動の全体的な立案、運営、連絡調整等を行う。メンバーは、学校職員代表・PTA代表・コーディネーター・地域の方々等で構成する。

- (2) スクールボランティアの登録の徹底
- (3) 市内全校において、スクールボランティア週間の実施(年2回)

各学校の創意・工夫により、スクールボランティアの活動を積極的に取り入れることを目的とし、次の期間を目安にスクールボランティア週間を設定する。

前期： 7月 3日(月)～ 7月 7日(金)
後期： 10月16日(月)～ 10月20日(金)

- (4) コーディネーターの配置(20校を予定)

2年目（平成19年度）の取り組み

- (1) コーディネーターの全校配置
- (2) スクールボランティアの拡充・充実

3年目（平成20年度）の取り組み

- ・スクールボランティアの定着

3. 市教委としての取り組み

- (1) スクールボランティア実践研究委員会〔全校対象〕

第1回（5月）

- ・ スクールボランティア・パワーアップ事業の説明
- ・ 酒匂中学校の実践の紹介

第2回（11月）

- ・ 中間報告会

第3回（2月）

- ・ 実施校による報告会

- (2) スクールボランティア・パワーアップ事業実施校の決定（5月中旬～下旬）

スクールボランティア・パワーアップ事業の実施を希望する学校は、申請書・事業計画書を提出し、教育委員会が審査したうえで決定する。その後も予算の範囲内で、随時実施校を決定する。

4. その他

- ・ スクールボランティア・パワーアップ事業の概要については、別紙参照

平成18年度 スクールボランティア・パワーアップ事業（案）

1. 趣旨

子どもたちがより良く生き、成長していくためには、今まで以上に学校を開き、学校・保護者・地域が一体となった「協働による新しい学校づくり」を進める取組みが大切である。

その具体的な取組みとして、授業や部活動等の教育活動、環境整備等をともに進めていくスクールボランティアの存在が求められる。

そのために、市内全小中学校において、学校と保護者・地域を結ぶコーディネーターの配置を進め、スクールボランティアのより一層の推進を図っていくことが急務である。

2. コーディネーターの仕事内容

スクールボランティアの推進を目的として、ニーズに応じた地域の人材や施設等の発掘、協力依頼、調整、打合せ、情報管理等

(1) 授業参加に係わること

教員から授業のねらい・計画・スクールボランティアへの要望などを聞き取り、地域から人材や施設を発掘し、依頼し、調整等を進め、授業参加を実現させる。

(2) 体験学習の推進に係わること

進路学習や総合的な学習の時間の中で、職場体験学習等を実施しているが、その受け入れ先となる会社・商店・公共施設等の発掘、依頼、調整等を行う。

(3) 不登校児童生徒に係わること

不登校児童生徒と関わり、生徒及び保護者と学校とのパイプ役となる。

(4) 特別支援教育に係わること

障害を抱えた子どもをはじめとして、教育上配慮を要する子どもを支援するボランティアを地域から発掘し、依頼し、調整等を行う。

(5) その他

3. 平成18年度配置予定校

(1) 小田原市立酒匂中学校及び白鷗中学校（平成17年度実施校）の2校と各中学校区に1～2校の合計20校を予定し、全小中学校の約半数にあたる学校に配置する。

(2) 新規校については、希望する学校が事業計画書を提出し、委員会が審査したうえで、決定する。

4. 予算

1日4時間、年間30日分の謝礼と、連絡に係わる費用を予算化する。

報償費 コーディネーターへの謝礼

1,000円×4時間×30週×20人（20校分）=2,400,000円

通信連絡費

2,500円×20校=50,000円

5. その他

平成19年度の見通し：市内小中学校全校に配置予定

平成18年度学校教育関係研修事業等の概要について(案)

小田原市教育委員会

～研修会～(学校教育課分)	
～ライフ・ステージに沿った研修会～	
1 校長研修会	... 1 回
2 教頭研修会	... 3 回
3 教頭研修会	... 3 回
4 教務担当者研修会	... 2 回
5 学校事務職員研修会	... 1 回
6 新採用学校事務職員研修会	... 1 回
～専門性を高め、 教育課題を踏まえた研修会～	
7 特別支援教育研修会	... 1 回
8 人権・同和教育研修会	... 3 回
9 学校防災研修会	... 1 回
10 市児童・生徒指導研修会	... 1 回
11 防犯に関する研修会	... 1 回
12 飼育動物に関する研修会	... 1 回
13 キャリア教育研修会	... 1 回
～学校教育サポートスタッフ等の研修会～	
14 特別支援教育介助員研修会	... 1 回
15 スタディ・サポート・スタッフ研修会	... 1 回
16 少人数指導スタッフ研修会	... 1 回
17 言語障害教育研修講座	... 1 回

～会議・連絡会等～	
1 特別支援教育推進協議会	... 3 回
2 就学指導委員会	... 3 回
3 特別支援教育通級教室連絡会	... 2 回
4 ことばの教室入級審査	... 3 回
新5 介助員派遣校連絡会	... 1 回
6 スタディ・サポート・スタッフ (1・2年) 実施校連絡会	... 1 回
7 スタディ・サポート・スタッフ (3年生以上) 実施校連絡会(個別指導支援スタッフ事業)	... 1 回
8 少人数学級編制推進事業実施校連絡会	... 1 回
9 外国語指導助手担当者会議	... 1 回
新10 小学校英会話講師派遣事業連絡会	... 1 回
11 外国人児童・生徒日本語指導者連絡会	... 1 回
12 教員海外視察研修(含事前研修)	... 5 回
13 小・中学校学習実態調査委員会	... 3 回
14 学校事務組織責任者会議	... 3 回
15 不登校対策委員会	... 3 回
16 学校安全対策協議会	... 2 回
17 合同事故防止会議	... 1 回
18 児童・生徒指導連絡協議会	... 2 回
19 学校運営協議会研究委員会	... 2 回
20 教育フォーラム	... 1 回
新21 教職員事故防止研究委員会	... 4 回
新22 学校防災資料作成委員会	... 4 回
新23 スクールボランティア実践研究委員会	... 3 回

～研修会～(教育研究所分)	
～ライフ・ステージに沿った研修会～	
1 市初任者研修会・転任採用者研修会	... 1 回
2 ステップアップ 研修会	... 2 回
3 ステップアップ 研修会	... 2 回
4 ステップアップ 研修会	... 2 回
5 ステップアップ 研修会	... 2 回
～専門性を高め、 教育課題を踏まえた研修会～	
6 校内研究担当者研修会(研究主任)	... 2 回
7 プロジェクト研修会	... 2 回
8 情報教育研修会	... 1 回
～会議・連絡会等～	
1 初任者研修拠点校方式説明会	... 1 回
新2 学習評価研究委員会(小学校)	... 1 回
～その他～	
1 情報教育に関すること	
2 教育情報発信に関すること(教育かわら版・HP発信など)	

～その他～	
新1 夢育(ゆめいく)学校づくり推進事業	
2 小田原市推薦研究委託事業	
3 介助員配置事業	
4 言語障害児通級指導教室「ことばの教室」	
5 特別支援教育相談室「あおぞら」	
6 情緒障害児通級指導教室「フレンド」	
7 スタディ・サポート・スタッフ 事業	
8 少人数学級編制推進事業	
9 小・中学校学習実態調査	
10 土曜講座ワクワク学習教室(小5国・算・教室)	
11 土曜講座ワクワク学習教室英語セミナー(小4・中1)	
12 ふれあいロボット体験教室	
13 国際理解教育推進事業(ALT派遣)	
14 小学校英会話講師派遣事業	
15 国際交流事業(ALT幼稚園・小学校派遣)	
16 外国人児童生徒日本語指導協力者派遣事業	
17 学生ボランティア活用事業	
18 部活動外部指導者派遣事業	
19 市長ゲストティーチャー(小・中各1校)実施	
新20 スクールボランティア・パワーアップ事業	
21 スクールカウンセラー等派遣事業	
22 歴史・自然体験事業	
23 二宮尊徳学習事業	
24 人権・環境教育推進事業	
25 おだわらっこドリーム・シアター開催事業	
26 歌集「おだわらっこ心のハーモニー」配布	
27 キャリア教育推進事業	
28 地域とつくる学校推進事業	
29 学校評議員制度支援事業	
新30 おだわらっ子の約束(仮称)(教育政策課)	

「おだわらっこドリームシアター」の開催について

- 1 趣旨 子どもたちが質の高い芸術・文化作品に触れ・体感することにより、芸術・文化に対する豊かな感性や感覚を持つ心を育てる。
- 2 主催 小田原市・小田原市教育委員会
- 3 期日 平成 18 年 2 月 23 日 (木): 1 日 2 回公演
午前の部公演 10:00 開場 - 10:30 開演 - 12:30 終了
午後の部公演 13:30 開場 - 14:00 開演 - 16:00 終了
- 4 会場 小田原市民会館 大ホール
- 5 対象 市内小学校 4 年生全員
- 6 委託先 劇団「四季」
- 7 演目 「人間になりたがった猫」(別添ちらし参照)
- 8 集合方法 借上バス、電車及び徒歩
- 9 公演別
(1)第 1 回公演該当校 三の丸・新玉・足柄・芦子・大窪・早川・町田・千代・下曾我・国府津・片浦・豊川・前羽・下中小学校の計 14 校 (児童 909 人参加予定)
(2)第 2 回公演該当校 山王・久野・富水・下府中・桜井・酒匂・曾我・東富水・矢作・報徳・富士見小学校の計 11 校 (児童 913 人参加予定)
- 10 昼食 全校「弁当」とする。
- 11 招待者等 市議会正副議長・福祉文教常任委員会正副委員長及び委員 (7 名) ・市長・助役 (2 名) ・収入役・市教育委員 (5 名) ・その他関係者 (2 ~ 3 名) の計 20 名程度
- 12 協力体制 事前及び当日の準備等については、市教育委員会の職員により行う。また、当日は保健師を常駐させる。



劇団四季のファミリー・ミュージカル

人間になりたががが猫

ロイド・アリクサンダー原作「人間になりたがが猫」(評論社刊)より
構成・演出 **浅利慶太**

作曲 **鈴木邦彦** / 振付 **山田 卓** / 装置 **土屋茂昭**
衣裳 **森 英恵** / 照明 **紫藤正樹** / 台本 **梶賀千鶴子**

「おしぎな気持ちだ。」

TSVNE

人間になりたがった猫

ロイド・アリグザンダー原作「人間になりたがった猫」(伊藤社刊)より

構成・演出＝浅利慶太

作曲＝鈴木邦彦／振付＝山田 卓／装置＝土屋茂昭

衣裳＝森 英恵／照明＝藤藤正樹／台本＝梶賀千鶴子

人間って、とってもステキなんだね!

ぼくは猫のライオネル。ご主人で魔法使いのステファヌス博士に、口答えをしたバツで2日間人間にさせられちゃったんだ。でもほんとはうれしくてしかたがない。ずっと人間になりたかったんだもの。人間の世界は驚きの連続だよ。猫なのに「カモ」なんて言われてたまされたり、火の中にとびこむはめになったり。でもここでぼくは初めて知ったんだ。涙も、恋する気持ちも、人間や仲間の素晴らしさも…。みなさんにぼくの発見したこと、全部伝えます! たくさんの人たちとぜひ来てくださいね。

ライオネルより。

あなたもひととき魔法にかかる。

緑深いダンスターの森にすむ猫ライオネルは、ある日ステファヌス博士を怒らせて人間に変えられてしまい、人間たちの住むブライトフォードの町へ出かけます。そこで出会った意地悪なお役人スワガードから、可愛らしい娘ジリアンを救おうとしたライオネルですが…。原作者ロイド・アリグザンダー氏も「魔法のように魅惑的」と絶賛したこの舞台の見どころのひとつは、大掛かりで美しいセット。ジリアンのホテルが火事になる場面は、その迫力に思わず息をつめてしまうはず。また愛すべき登場人物たちによる躍動感いっぱいのダンスや、心あたまる歌の数々も、見る人をぐんぐん引き込んでいきます。あなたも、ライオネルといっしょに人間の素晴らしさ、仲間の大切さを探しに行きましょう!

公演に関するお問い合わせ:劇団四季 全国公演本部 〒105-0022 港区海岸1-9-18 国際浜松町ビル3F TEL.03-5776-6728

あなたも「四季の会」に入会しませんか。お問い合わせ・資料請求は「四季の会」事務局まで。TEL.045-903-1038

小田原市長あいさつ

小澤良明

小田原市では、「健康と教育」を市政の重要な柱の1つに掲げるとともに、平成16年4月に行った「小田原市教育都市宣言」のもと、子どもたちの生きる力を育むための施策を展開しております。

こうした中、子どもたちが質の高い芸術・文化作品にふれ、体感することにより、豊かな感性や感覚が育まれることを期待して、この「おだわらっこだりーむシアター」を、今年度から新たにスタートしました。

今後も、未来を担う子どもたちが、この小田原の地ですくすくと育っていただけるよう、こうした事業を展開しながら、教育行政にしっかりと取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「おだわらっこだりーむシアター」開催

日時 平成18年2月23日(木)
第1回公演 開場 10:00 開演 10:30
第2回公演 開場 13:30 開演 14:00
会場 小田原市民会館 TEL 0465-22-7146
主催 小田原市・小田原市教育委員会

小田原市教育委員会教育長あいさつ

青木秀夫

本日公演をする劇団「四季」は、みなさんも知っているとおり、世界的に見ても大変良い演劇をしています。特に、小学生向けの「ミュージカル」は、演劇に熱心を持ってもらうためのさまざまな工夫や演出がたくさんあると聞いています。

みなさんは、この公演を見て、いろいろなことを感じ、さまざまなことを考えることでしょうか。心から感動するといったことができる大変良い機会だと思います。

それではみなさん、「ライオネル」といっしょに楽しい時間を過ごしてください。